

を納品!

福祉センターに

福 生 野 菜



「少ないながらも、福生にも農地がある、地場産野菜だからこそできる新鮮な朝もぎ野菜をデイサービスの食事に利用できないか。」そんな思いで地場産野菜の導入を始めたと管理栄養士の谷口美津子先生は話してくださいました。農業者との協力体制もスムーズに構築され、導入が始まったとのこと

です。今年には三名程の農業者が中心となり、市場価格と比べると二〜三割安く納品しているそうです。

新鮮野菜「おいしい！」



今年の天候不良の中でも多く登場したのがナスのお料理。焼きナスや味噌炒め、天ぷらなど多くのメニューで登場しました。地場産野菜を使用した日は必ずその旨を利用者にお知らせしているそう、利用者からも「おいしい。」と好評を得ています。

地域の福祉と地域の農業が手を結んだこの取り組みが今後ますます発展していくことを期待します。

家庭菜園の候補地を探しています



高齢化や健康上の理由で、農地を維持するのが難しいとお考えの方は多いのではないのでしょうか。現在福生市には5ヶ所の家庭菜園がありますが、応募倍率が二倍を超える菜園も出てくるなど、市民のニーズも高まっています。

農地の管理、困っていませんか?



農地の遊休化や担い手不足にお悩みの場合、農地保全の選択肢のひとつとしてご検討ください。詳しくは事務局へご相談ください。ただし、生産緑地は家庭菜園にはできません。

秋の予定



産業祭での直売

10月31日(日) 福生市中央体育館にて。

少量でもけっこうですので、ぜひ出荷してみませんか? 農業委員がお尋ねに伺います。

福生市農産物共進会

11月13日(土)・14日(日)

西多摩農協 福生支店にて開催です。



ご注意下さい! 農作業事故

みなさんは毎年400件程度の農作業死亡事故が発生していることをご存じでしょうか。

業種別では製造業・建設業などをおさえ、農林業はもっとも事故発生率の高い業種であることが分かっています。(2004年厚生労働省調べ。)

「慣れているから自分は大丈夫。」そんな気持ちから手抜きをしたり誤った動作を行うと思わぬ大事故につながる可能性があります。また、残暑の厳しい炎天下での除草作業中に熱中症を起こすなどのトラブルにも注意が必要です。

ミスを起こさない人はいません。「自分の命は自分で守る。」面倒くさいと思わずに、安全対策をぜひ考えていただきたいと思います。(参考: 全国農業新聞2010年5月連載記事)



- 機械の整備は充分ですか?
- 機械の作業手順は熟知していますか?
- 作業場所に危険な状況はありませんか?(狭い個所や傾斜地など)
- 万が一の時の連絡体制は万全ですか?

